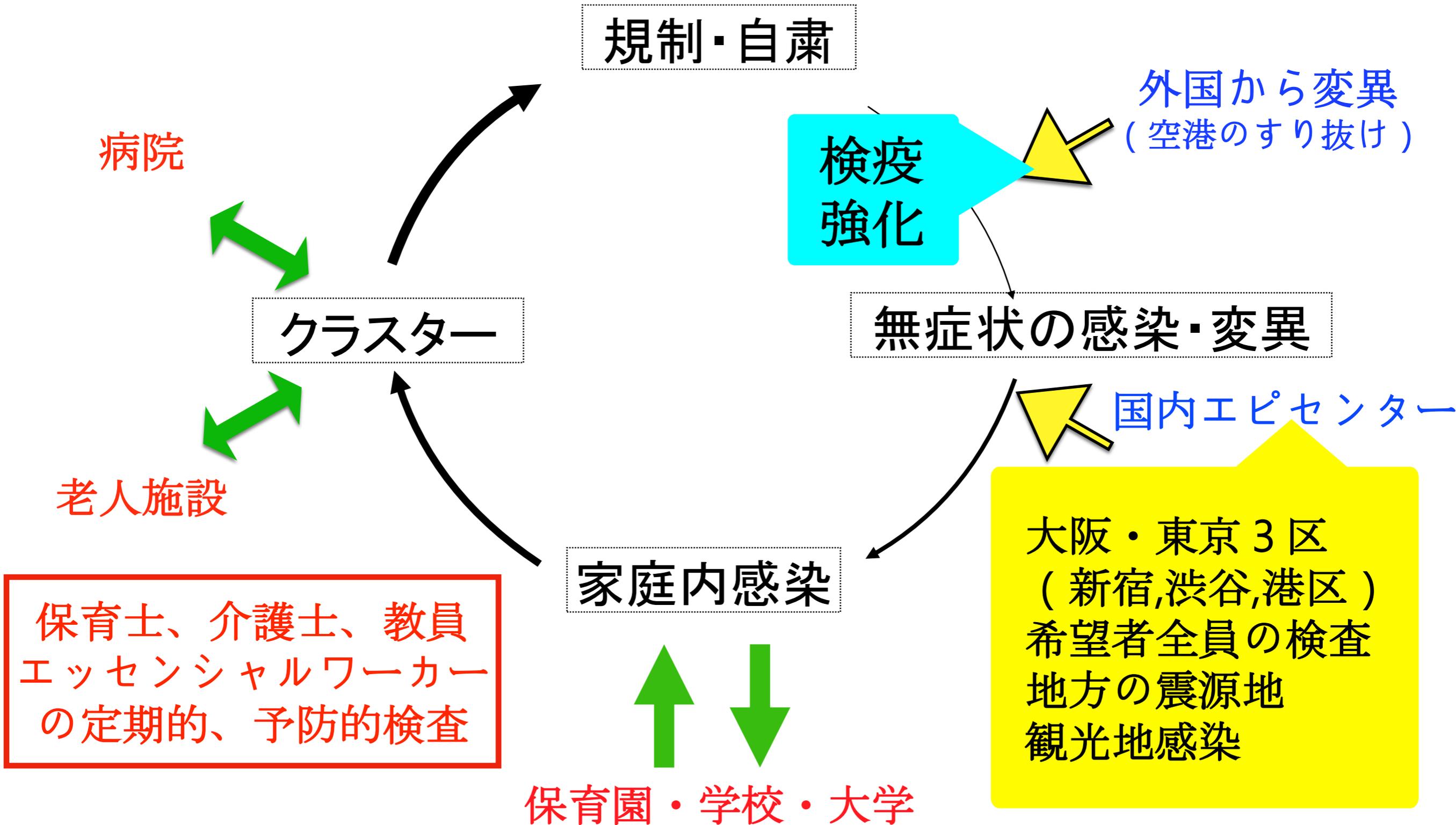


感染の悪循環サイクルを防ぐ出口



PCR検査の体系(対象者別)

有 症 状 者	<p>◎ 帰国者・接触者外来 (48施設)</p> <p>◎ 診療・検査医療機関 (1,063施設)…唾液</p> <p>◎ 流川積極ガード診療所 (10/12~12/28)…歓楽街の従業員</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者施設・事業所 ・ 医療機関 	<p>従事者を対象にしたPCR検査・抗原検査</p>
無 症 状 者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食店 ・ 障害者(児)施設・事業所 ・ 消防署の救急隊員 ・ 廃棄物処理業 ・ 理美容業 ・ 鍼灸マッサージ業 …の従業員及び関係者 ・ 2週間以内に酒類提供時間の短縮を要請している地域の飲食店で飲食した者 	<p>◎ PCRセンター (流川・観音・東広島・福山・三次)</p> 
	<p>中区・東区・南区・西区内の 住民・就業者</p>	<p>PCR検査の集中実施</p>



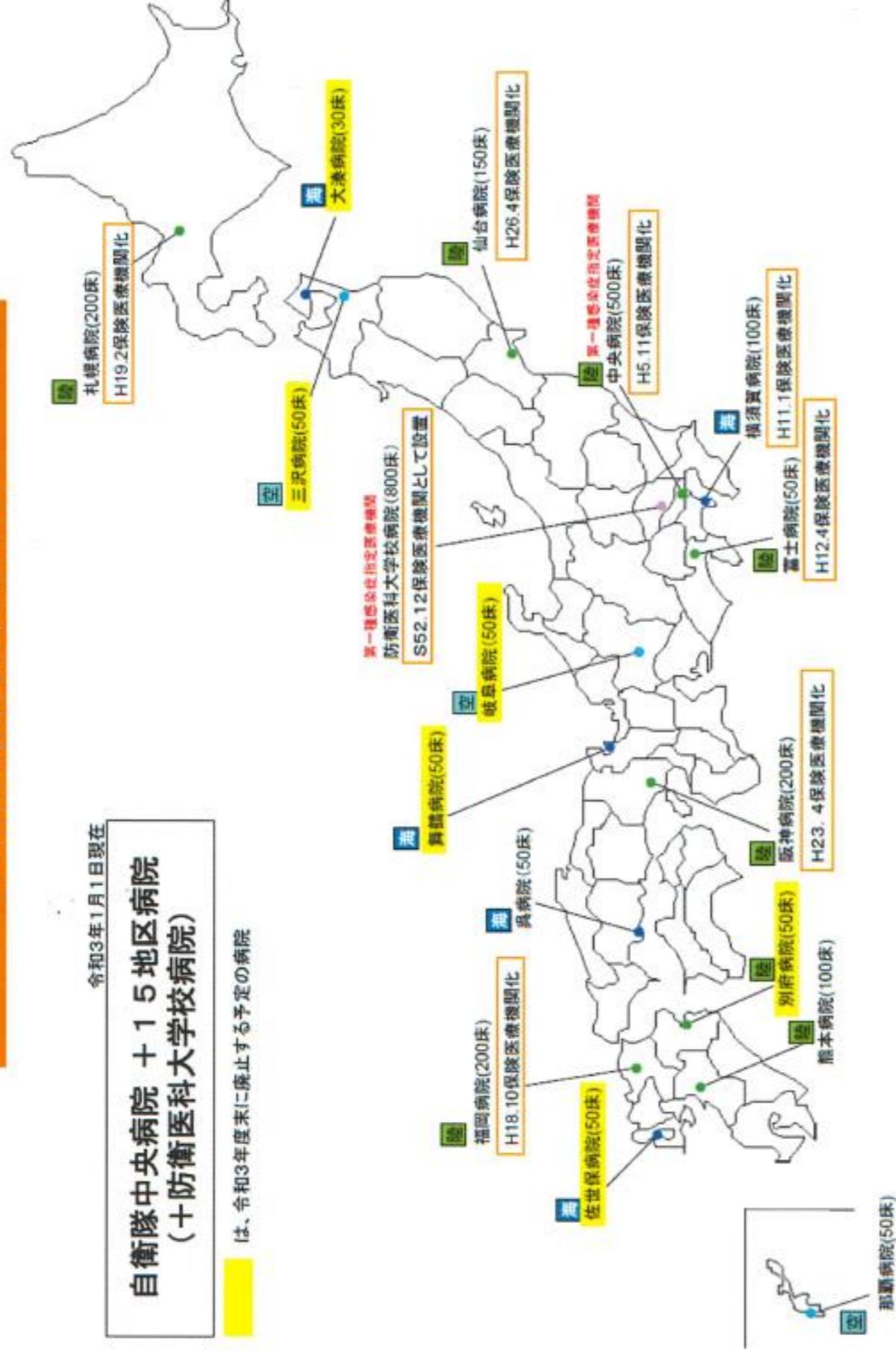
令和3年2月9日
防衛省

自衛隊病院等の配置状況

令和3年1月1日現在

自衛隊中央病院 + 15 地区病院 (+防衛医科大学校病院)

は、令和3年度末に廃止する予定の病院



自衛隊内の医療従事者数

令和2年3月31日現在

- 医官 約1,000名
- 看護官 約1,000名
- 准看護師 約1,800名
- 医療技術者 約2,700名※

※医療技術者（歯科医官、薬剤師、救急救命士、診療放射線技師等を含む）

廃炉に向けた「中長期ロードマップ」

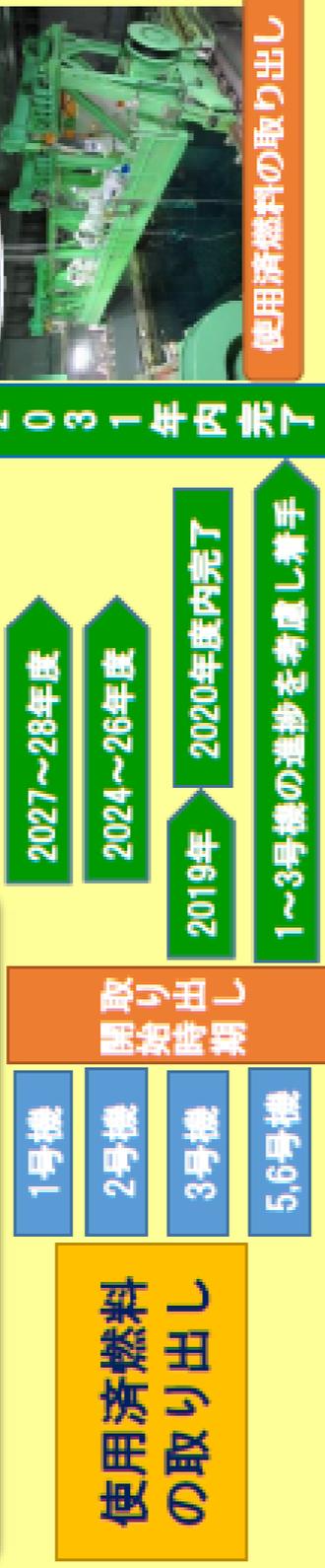
中長期ロードマップ

「東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた中長期ロードマップ」（中長期ロードマップ）は、福島第一原子力発電所の廃炉を進めていく上で、基本的な考え方や主要な目標工程等を政府が定めたものです。2019年12月に5回目の改訂が行われました。

廃炉の完了時期

2041年～51年

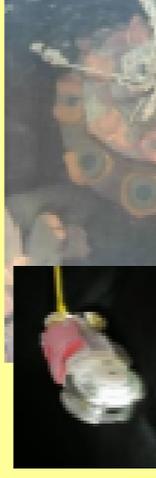
主な工程の目標時期



燃料デブリの取り出し

最初の号機の取り出し開始 (2号機から着手)

2021年内



格納容器内調査

汚染水対策

汚染水発生量

150ml/日程度に抑制→2020年内
100ml/日以下に抑制→2025年内

滞留水処理完了

原子炉建屋滞留水を2020年末の半分程度に低減
→2022年度～2024年度



陸側遮水壁 (凍土遮水壁)

廃棄物対策

処理・処分に関する技術的見通し
→ 2021年度頃

ガレキ等の屋外一時保管解消
→ 2028年度内



固体廃棄物貯蔵庫建設

中長期ロードマップってどうやって作られているの？

廃炉作業の実施には、技術的な戦略が必要となります。そのため、廃炉の技術的な検討を行う「原子力損害賠償・廃炉等支援機構」が2015年から毎年「福島第一原子力発電所の廃炉のための技術戦略プラン」を取りまとめています。2019年の「技術戦略プラン」で提案された内容を踏まえ中長期ロードマップの改訂（案）が作成され、2019年12月に廃炉・汚染水対策関係閣僚等会議において、第5回目の改訂が了承されました。